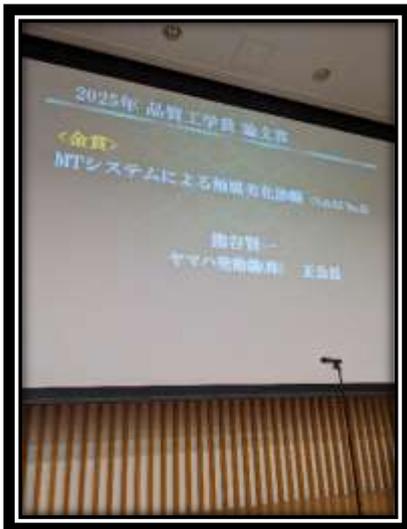


2025 年度(令和 7 年度)

(公財)精密測定技術振興財団品質工学賞 贈賞式

2025 年 7 月 4 日(金)16 時 40 分より、統計数理研究所 大会議場にて、(公財)精密測定技術振興財団品質工学賞の贈賞式が開催されました。当財団の精密測定技術に関する表彰事業の一環として例年実施されており、高増常務理事が贈賞いたしました。1993(平成 5)年の創設から数えて、今年度は第 33 回目となりました。



品質工学賞には「論文賞」「発表賞」があり、「論文賞」は品質工学会の学会誌に掲載された論文を対象として、その成果が優秀と認められるものに対し、品質工学の研究を激励し技術の発展と社会の充実することを目的として贈呈されます。「発表賞」は当該年度に実施された大会発表を対象にして審査され、贈呈されます。

論文賞

金賞:MT システムによる触媒劣化診断

銀賞 1:波形データを用いた MT 法による製品同一性管理と単位空間の作成

銀賞 2:田口の考え方の構造化:技術開発に対する品質工学 - 技術開発の目的 -

発表賞

金賞:DFSS により次世代低温熱源排熱回収システムの技術開発

銀賞 1:リモートセンシングデータを活用した養殖カキの成長予測

銀賞 2:補正加工実現へ向けた金型機械加工誤差予測手法開発

銀賞 3:熱式質量流量センサのゼロ点安定性改善と、開発プロセスの効率化に関する取り組み

品質工学の本質は計測で、精密そのものであり、品質工学を発展させることが我が国のモノづくりの発展に絶対的に必要であることを確信しております。